

防衛省 令和 8 年度 衛星リモートセンシング関連事項

令和 7 年 1 2 月
防 衛 省

防衛省の令和 8 年度宇宙関連予算の概算要求について

- 経済・社会活動にとって不可欠な宇宙空間の安全かつ安定した利用等を確保するため、宇宙の安全保障の分野での対応能力を強化することが必要。
- この観点から、「防衛力整備計画」に基づき宇宙領域における能力強化を進めてきている。
- 令和 8 年度概算要求においては、契約ベースで **約 1, 7 6 8 億円**、歳出ベースで **約 2, 2 9 9 億円** を計上。

項 目	8 年度概算要求 (契約ベース)	8 年度概算要求 (歳出ベース)
衛星通信網の整備		
次期防衛通信衛星等の整備	約 9 0 3 億円	約 2 1 7 億円
多国間の衛星通信帯域共有枠組み対応器材等の整備	約 8 8 億円	約 1 2 億円
商用低軌道衛星通信器材等の整備	約 1 1 億円	約 1 0 億円
宇宙領域を活用した情報収集能力等の強化		
次世代防衛技術実証衛星の開発	約 6 9 億円	約 2 4 億円
画像解析用データの取得	約 2 4 2 億円	約 2 4 1 億円
宇宙領域把握（SDA）の強化		
衛星妨害状況把握装置の整備	約 1 2 億円	—
その他の宇宙政策に関する取組（上記以外）	約 4 4 4 億円	約 1, 7 9 4 億円
合 計	約 1, 7 6 8 億円	約 2, 2 9 9 億円

防衛省の令和 8 年度概算要求における衛星リモートセンシング関連事項について

防衛省における衛星リモートセンシング活用の概要

- 我が国周辺における軍事活動が活発化する中、様々な手段を適切に活用し、隙のない情報収集体制を確立することが不可欠。スタンド・オフ防衛能力の実効性を確保する観点からも、宇宙領域を活用した常時継続的な目標情報の探知・追尾能力の獲得、情報収集・分析は重要な手段となり得る。
- 防衛省としては、我が国の安全保障の確保のため、画像解析用データの取得や衛星コンステレーションの構築など、衛星リモートセンシングの活用に取り組んでいる。

リモセン関連事項の例	8 年度概算要求 (契約ベース)	8 年度概算要求 (歳出ベース)
画像解析用データの取得	約 2 4 2 億円	約 2 4 1 億円
衛星コンステレーションの構築	—	約 2 6 2 億円

画像解析用データの取得

事業概要

○ 周辺地域の情報収集のため、高解像度を有する民間衛星等による画像を取得

- 令和3年度から従来の大型衛星に加えて、小型多頻度衛星による画像データの取得を開始。
- 従来の大型衛星と比較し、以下の特徴があり、同一地点の多頻度かつ適時性をもった情報収集・分析が可能。

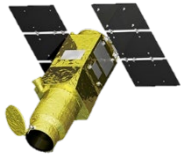
(大型衛星の特徴)

- ・高額、高分解能、少量製造、打上げ頻度低
- ・同一地点への再訪頻度が1日1回以下
- ・撮像時間が一定

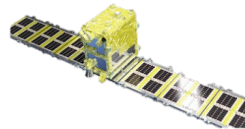
(小型多頻度衛星の特徴)

- ・低コスト、大量製造、打上げ頻度高
- ・数年以内に同一地点への再訪頻度を数時間に1回とする計画の企業が複数存在
- ・撮像時間が多様化

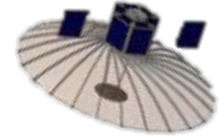
(参考) 防衛省が利用している主な民間衛星



ASNARO-1 (大型衛星)



StriX (小型多頻度衛星)



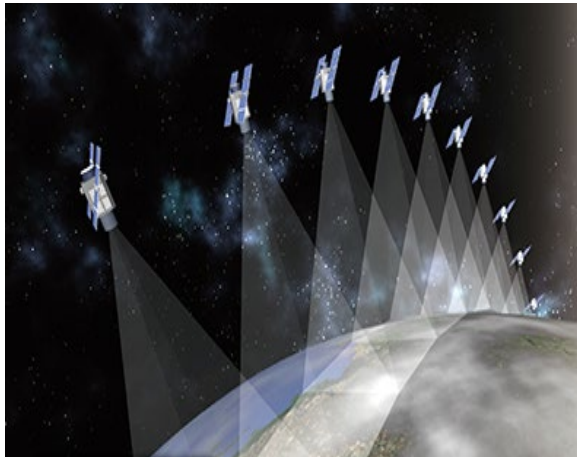
iQPS (小型多頻度衛星)

年度	6	7	8	9	10	R8概算要求 (歳出ベース)
線表	← 画像解析用データの取得 →		← 画像解析用データの取得 →	← 画像解析用データの取得 →		約241億円

衛星コンステレーションの構築

事業概要

- スタンド・オフ防衛能力の実効性確保に必要な目標の探知・追尾能力の獲得のため、令和7年度末から衛星コンステレーションの構築を開始（PFI方式）
 - 民間に衛星を所有させ、それを活用することで事業費を抑制しつつ、防衛省優先の衛星コンステレーションとして構築・活用することで、長期安定的なサービスの確保を実現
 - 我が国防衛の強化につなげ、もって国内宇宙産業の発展を促す観点から、「国産衛星」を利用
- ☞ **衛星コンステレーション**とは一定の軌道上に多数の小型人工衛星を連携させて一体的に運用するシステムのこと
- ☞ **PFI (Private Finance Initiative)**とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う契約手法のこと



衛星コンステレーション(イメージ)

事業スキームの概要

■ 衛星の構成

衛星の性能等を踏まえ、SAR衛星を中心に光学衛星を組み合わせた構成

■ 事業方式・所有権

PFI方式（BOO方式）※**B**uild **O**wn **O**perate

衛星・地上施設は民間事業者に保有させ、民間事業者のノウハウ等を活用し、運用・維持管理

■ 事業期間

衛星の寿命も考慮し、令和7年度から令和12年度までの6年間（準備期間1年＋小型衛星の寿命5年）

(参考：契約ベースで約2,832億円)

年度	7	8	9	10	11	12	R8概算要求 (歳出ベース)
線表							約262億円

衛星コンステレーションの構築